

3 高知市地震・津波防災教育の全体構想

防災教育の目的 (防災教育支援に関する懇談会 中間とりまとめ (平成 20 年 8 月文部科学省))

「生きる力」を涵養し、能動的に防災に取り組む人材の育成

高知市地震・津波防災教育の目標

- 自然に対する畏敬の念を持ち、郷土愛をはぐくむとともに、地震や津波についての知識を高め、命を守ることができる思考力と判断力を身に付ける。
- 防災に主体的に行動できる技能を身に付ける。
- 家庭や地域、関係機関との連携により「共助」の心を育てるとともに、地域防災に積極的に貢献する態度を身に付ける。



高知市地震・津波防災教育 学習の視点

地震・津波の正しい

知識

を身に付ける

地震・津波から身を守る

技能

を身に付ける

自助・共助の

態度

を身に付ける

4 「高知市地震・津波防災教育の手引き」・学習の視点別学習内容の分類

発達段階・学習内容		学習の視点	正しい知識	身を守る技能	自助・共助の態度
保育所 ・ 幼稚園		01.「じしん」ってなあに？	○		
		02.「つなみ」ってなあに？	○		
		03.おぼえよう！ひなんのあいず	○		
		04.「だんごむし」でからだをまもろう		○	
		05.「ちゅーたとふしぎなメロンパン」		○	
		06.あんぜんにひなんしよう		○	
		07.「お・は・し・も」のやくそく			○
		08.みんなでいっしょにひなんしよう		○	
		09.あんぜんなところはどこ？	○		
		10.ひなんできるところはどこ？			○
		11.こまったときにはひとにきこう			○
小学校 低学年		01.「グラッ」ときたら？	○		
		02.より安全な部屋にしよう		○	
		03.津波の高さはどれくらい？	○		
		04.避難場所を知ろう	○		
		05.避難場所に行ってみよう		○	
		06.避難の時に大切なこと			○
		07.こんなときに地震が起きたら			○
小学校 中学年	特別 支援 学校	01.地震はなぜ起きるの？	○		
		02.震度とマグニチュード	○		
		03.津波の威力はどれくらい	○		
		04.校区の防災マップをつくろう	○		
		05.昔々、高知市は…	○		
		06.わたしの街の被害は？	○		
		07.非常持ち出し袋の中身は？		○	
		08.地震・津波からどう避難する？		○	
		09.建物の安全を守る	○		
		10.避難生活に協力しよう			○
小学校 高学年	(学級)	01.心肺蘇生の技能を身に付けよう		○	
		02.服を着たまま水に入ると？		○	
		03.過去の巨大地震について知ろう	○		
		04.津波の高さを知ろう	○		
		05.こんなときどうする？			○
		06.安全な暮らしと情報			○
		07.地震から身を守ろう		○	
		08.防災倉庫の中身は？			○
		09.家の中の安全対策		○	
		10.自主防災組織との連携			○
		11.「苦しい時だからこそ」			○
		12.避難所での生活と役割			○
中学校		01.災害と向き合うために	○		
		02.心肺蘇生の技能を身に付けよう		○	
		03.普通の波と津波のちがいは？	○		
		04.事業所の備えと関係機関			○
		05.安全な避難のために		○	
		06.「稲むらの火」			○
		07.災害と栄養		○	
		08.「語りかける目」			○
		09.災害時の食事について考えよう			○
高等学校		01.心肺蘇生の技能を身に付けよう		○	
		02.避難生活とストレス軽減			○
		03.災害図上訓練(DIG)			○

5 「高知市地震・津波防災教育の手引き」による発達段階別年間指導計画の例

	保育所・幼稚園	小学校低学年	小学校中学年
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○身近にある危険に気付くことができる。 ○大人の指示に従って行動できる。 ○集団としてのルールを守ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波について知り、地震や津波について知り、避難のための知識を身に付ける。 ○大人の指示に従うとともに、自ら判断し、適切な避難行動がとれる。 ○生命を守るために、他者と協調する態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波の基本的な特徴を理解し、危険回避の知識を身に付ける。 ○地域の危険個所を把握し、状況に応じた判断と自主的な避難行動がとれる。 ○自分の安全とともに、他の人の安全にも気を配ることができる。

月	指導内容		
	【ガイダンス】自然とわが郷土		
4	01.「じしん」ってなあに？		
5	02.「つなみ」ってなあに？		
6	03.おぼえよう！ひなんのあいず	01.「グラッ」ときたら？	01.地震はなぜ起きるの？
7	04.「だんごむし」でからだをまもろう	02.より安全な部屋にしよう	02.震度とマグニチュード 03.津波の威力はどれくらい？
9	05.「ちゅーたとふしぎなメロンパン」	03.津波の高さはどれくらい？	04.校区の防災マップをつくろう
10	06.あんぜんにひなんしよう	04.避難場所を知ろう	05.昔々、高知市は…
11	07.「お・は・し・も」のやくそく	05.避難場所に行ってみよう	06.わたしの街の被害は？
12	08.みんなでいっしょにひなんしよう	06.避難の時に大切なこと	07.非常持ち出し袋の中身は？ 08.地震・津波からどう避難する？
1	09.あんぜんなところはどこ？		09.建物の安全を守る
2	10.ひなんできる場所はどこ？	07.こんなときに地震が起きたら	10 避難生活に協力しよう
3	11.こまったときにはひとにきこう		

特別支援学校(学級)における学習目標

特別支援学校(学級)の児童生徒等、教育上特別な支援が必要な児童生徒等については、障害の状態、発達段階、特性等及び地域の実態等に応じて、自ら危険な場所や状況を予測・回避したり、必要な場合には援助を求めたりすることができるようにする。

小学校高学年	中学校	高等学校	
<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波の特徴について理解を深め、自分の判断で危険を回避できる。 ○危険から身を守る技能の習熟を図るとともに、簡単な応急手当ができる。 ○地域の防災体制を知り、協力する態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波のメカニズムについて知り、生活と災害とのかかわりについて思考できる。 ○応急手当の技能の習熟を図るとともに、「共助」への行動力を身に付ける。 ○地域や事業所の防災体制について理解を深め、防災に主体的な態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地震や津波のメカニズムについて理解を深め、防災への科学的な思考力を身に付ける。 ○災害時の状況を適切に予測し、主体的な備えができる技能を身に付ける。 ○「共助」への理解を深め、支援者として自らすすんで行動できる態度を身に付ける。 	学習目標

指導内容			月
【ガイダンス】自然とわが郷土			
	01.災害と向き合うために		4
01.心肺蘇生の技能を身に付けよう	02.心肺蘇生の技能を身に付けよう	01.心肺蘇生の技能を身に付けよう	5
	03.普通の波と津波のちがい		6
02.服を着たまま水に入ると？	04.事業所の備えと関係機関	02.避難生活のストレス軽減	7
03.過去の巨大地震について知ろう 04.津波の高さを知ろう	05.安全な避難のために		9
05.こんなときどうする？ 06.安全な暮らしと情報	06.「稲むらの火」		10
07.地震から身を守ろう 08.防災倉庫の中身は？	07.災害と栄養		11
09.家の中の安全対策			12
10.自主防災組織との連携 11.「苦しいときだからこそ」	08.語りかける目	03.災害図上訓練(DIG)	1
12.避難所での生活と役割	09.災害時の食事について考えよう		2
			3

特別支援学校(学級)における指導の留意点

特別支援学校(学級)においては、保育所・幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じた指導を基本とするが、児童生徒の障害の状態、発達段階、特性等及び地域の実態等、個々の児童生徒の状態に応じて、指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行う必要がある。